

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-250236

(43)Date of publication of application : 28.09.1993

(51)Int.Cl.

G06F 12/00

(21)Application number : 04-049059

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 06.03.1992

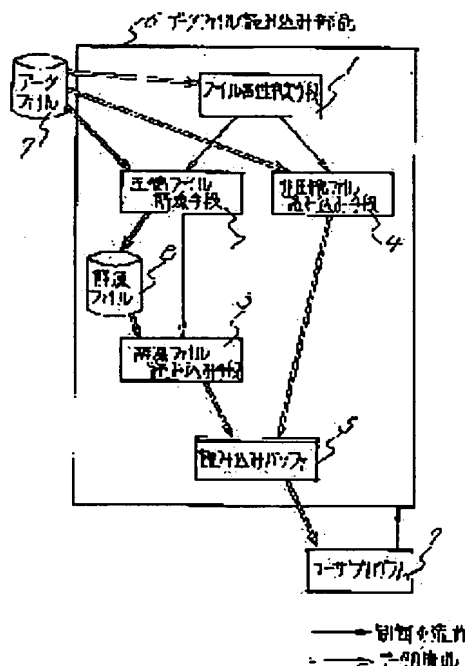
(72)Inventor : YUI TOMOYUKI

## (54) FILE READING-IN SYSTEM

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To save a user the trouble to restore a data file by automatically restoring and inputting the physically compressed data file.

**CONSTITUTION:** When data file reading-in parts 6 are started, a file attribute discriminating means 1 is started to input a data file 7 and discriminates whether this file is a compressed file or not. When it is a compressed file, a compressed file restoring means 2 and a restored file read means 3 are successively started to restore the input file; but when it is not a compressed file, a non-compressed file read means 4 is started to read in input data as it is.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-250236

(43)公開日 平成5年(1993)9月28日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

G 0 6 F 12/00

識別記号

5 1 1

庁内整理番号

7232-5B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-49059

(22)出願日 平成4年(1992)3月6日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 湯井 朋之

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式  
会社内

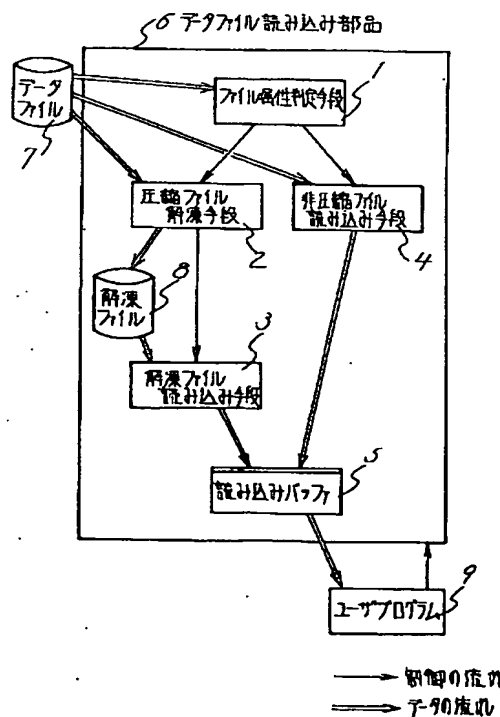
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 ファイル読み込み方式

(57)【要約】

【目的】 物理的に圧縮されたデータファイルを自動的に解凍し入力することにより、利用者が解凍する手間を省く。

【構成】 データファイル読み込み部品6が起動されると、ファイル属性判定手段1が起動されデータファイル7を入力し、そのファイルが圧縮ファイルであるかを判定する。圧縮ファイルである場合は、圧縮ファイル解凍手段2、解凍ファイル読み込み手段3が順次起動されて、入力ファイルが解凍される。また非圧縮ファイルの場合は非圧縮ファイル読み込み手段4が起動され、入力データがそのまま読み込まれる。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** プログラムがファイルからデータを読み込む時に利用するデータファイル読み込み部品におけるファイル読み込み方式において、

入力されるデータファイルが圧縮ファイルであるか否かを判定するファイル属性判定手段と、

入力されるデータファイルが圧縮ファイルであれば圧縮されたデータを解凍し、解凍ファイルを作成する圧縮ファイル解凍手段と、

前記解凍ファイルを読み込み、該データファイル読み込み部品を利用してプログラムへデータを渡す為の読み込みバッファにデータを出力する解凍ファイル読み込み手段と、

前記ファイル属性判定手段によって非圧縮ファイルであると判断されたデータファイルからデータを読み込み、前記読み込みバッファにデータを出力する非圧縮ファイル読み込み手段とを有することを特徴とするファイル読み込み方式。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【産業上の利用分野】** 本発明はプログラムが呼び出すデータファイル読み込み部品が、データファイルを読み込む方式に関する。

**【0002】**

**【従来の技術】** 従来、この種のデータファイル読み込み部品のデータファイル読み込み方式は、非圧縮ファイルのみしか扱えなかった。

**【0003】**

**【発明が解決しようとする課題】** 上述した従来のデータファイル読み込み方式は、通常非圧縮ファイルのみしか扱えないので、入力するデータファイルが圧縮ファイルの場合に、一度非圧縮ファイルへ解凍したのちにデータを読み込む必要があり、プログラムを起動する迄の前処理がわずらわしく、人手による為、人為的なミスが発生しやすいという欠点がある。

**【0004】**

**【課題を解決するための手段】** 本発明の方式は、プログラムがファイルからデータを読み込む時に利用するデータファイル読み込み部品におけるファイル読み込み方式において、入力されるデータファイルが圧縮ファイルであるか否かを判定するファイル属性判定手段と、入力されるデータが圧縮ファイルであれば圧縮されたデータを解凍し、解凍ファイルを作成する圧縮ファイル解凍手段と、前記解凍ファイルを読み込み、該データファイル読み込み部品を利用してプログラムへデータを渡す為の読み込みバッファにデータを出力する解凍ファイル読み込み手段と、前記ファイル属性判定手段によって非圧縮ファイルであると判断されたデータファイルからデータを読み込み、前記読み込みバッファにデータを出力する非圧縮ファイル読み込み手段とを有することを特徴と

する。

**【0005】**

**【実施例】** 次に本発明について図面を参照して説明する。

**【0006】** 図1は本発明の構成を表わす図である。

**【0007】** 図1を参照すると本発明の一実施例は、ユーザプログラム9とデータファイル読み込み部品6とデータファイル読み込み部品6の入力となるデータファイル7とから構成される。

**【0008】** さらに、データファイル読み込み部品6はファイル属性判定手段1と、圧縮ファイル解凍手段2と、解凍ファイル8と、解凍ファイル読み込み手段3と、非圧縮ファイル読み込み手段4と、読み込みバッファ5とを含んでいる。

**【0009】** 次に処理の流れを説明する。

**【0010】** データファイル読み込み部品6はユーザプログラム9から起動される。データファイル読み込み部品6が起動されると、ファイル属性判定手段1が起動される。

**【0011】** ファイル属性判定手段1はデータファイル7を入力し、入力したデータファイル7を解析して、データファイル7が圧縮ファイルであるか非圧縮ファイルであるかを判定する。

**【0012】** データファイル7がファイル属性判定手段1によって圧縮ファイルであると判定された場合は、圧縮ファイル解凍手段2、解凍ファイル読み込み手段3が順次起動される。

**【0013】** 圧縮ファイル解凍手段2はファイル属性判定手段1によって、入力するデータファイル7が圧縮ファイルであると判定された場合に、データファイル7から圧縮されたデータを読み込み解凍を行って非圧縮データを解凍ファイル8へ出力する。解凍ファイル読み込み手段3は解凍ファイル8から非圧縮データを読み込みユーザプログラム9へ読み込みデータを渡す為に用意された読み込みバッファ5に出力する。

**【0014】** 非圧縮ファイル読み込み手段4はファイル属性判定手段1によって、入力するデータファイル7が非圧縮ファイルであると判定された場合に、データファイル7から圧縮されていないデータファイル7を読み込み、読み込みバッファ5に出力する。

**【0015】** ユーザプログラム9は読み込みバッファ5のデータを入力データとして利用する。

**【0016】**

**【発明の効果】** 以上説明したように本発明は、プログラムが呼び出すデータファイル読み込み部品がデータファイルを読み込む際に、入力するファイルの属性を判定し、入力ファイルが圧縮ファイルであった場合に圧縮されたデータを解凍して読み込むことにより、利用者がプログラムを起動する前に、非圧縮ファイルへ変換する手間を省くため、人為的ミスを削減できるという効果があ

る。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の全体構成図である。

【符号の説明】

- 1 ファイル属性判定手段
- 2 圧縮ファイル解凍手段
- 3 解凍ファイル読み込み手段

- 4 非圧縮ファイル読み込み手段
- 5 読み込みバッファ
- 6 データファイル読み込み部品
- 7 データファイル
- 8 解凍ファイル
- 9 ユーザプログラム

【図 1】

